

兵庫県のカシトンボ産地

奥谷 禎一

昭和53年度に、日本昆虫学会は環境庁の委託により、第2回自然環境基礎調査の1部、全国昆虫分布調査を行った。筆者は、この調査の全国の総括、近畿の代表、兵庫県の総括責任者と1人3役をこなす破目になり、兵昆の諸兄にも大いに助けて頂いた次第であり、感謝に耐えない。

この全国調査の指標昆虫として、カシトンボがあり、県内の分布について、今までの記録と、筆者の知人に問合せ、次の市町がわかった。

多紀郡：篠山町（篠見、火打岩、後川）；丹南町（竜蔵寺、文保寺）、氷上郡：氷上町（石生）；春日町（黒井、春日部）、神戸市東灘区鴨子原、三田市小柿、西脇市比延、城崎郡香住町（三川山）、美方郡村岡町（小城、兎和野）；温泉町菅原、養父郡関宮町（二見川、鶴竈、八木川）、多可郡加美町三國岳、朝来郡生野町柝原、神崎郡大河内町川上、飾磨郡夢前町山之内。

このうち、神戸市のものは、現在宅地化しているので、絶滅してしまっていると思われる。この記録は以前から六甲山として扱われていたもので、小林桂助氏に伺って初めて正確な場所を知ったものである。この様子を地図に町毎に発見されている市町に○印を付して、眺めてみると、まだまだ発見されそうな市町のあることがわかる。本巻は、案外狭い巾50cm位の溪流にも生息しているので、5月の成虫期をねらうだけでなく、水中の幼虫を探索する方が簡単である。但馬地方の記録の多くは、西村登氏が水棲昆虫調査で幼虫を産卵されたものであり、筆者



兵庫県におけるカシトンボ産地

も篠山で、火打岩、竜蔵寺では幼虫を発見して確かめたものである。本種の幼虫は幼虫区鑑などを見て頂くとわかるが、非常に特徴のあるもので、若いうちは流水の礫みなどで発見できる。老熟すると浅い湿地状態の所まで這い上る性質もあるので、4~5月には溪流の崖ふちの湧水のある所を探すとよい。水上郡は山本義丸氏によりよく昆虫相の調査された所で、幼虫だけの記録がある。また、船越の内海功一氏は佐用郡では、ムカントンボの生息地になるような所が、古くから砂鉄採取のため荒されているので、いないのではないかと便りを下さった。

採集に出掛け、溪流で水を飲んだり、食事をされることも多いと思う。その節は、短時間でも、幼虫を探されることを念願する。

六甲山系（西部）の蝶

三 木 進

熱病のように蝶を追った中学、高校生時代。六甲山系西部の布引谷周辺を中心に約80種採集したが、現在大半の標本は散逸してしまつた。13~15年前の古い記録だが、犠牲となつた蝶たちのためにも、採集ノートと写真からデータを拾つてみた。（21-X-1978）。

A. Papilionidae アゲハチョウ科

1. *Papilio xuthus* アゲハチョウ 鉄拐山, 1♂, 1.6.1965.
2. *P. machaon hippocrates* キアゲハ 菊水山, 1♂, 19.4.1964.
3. *P. macilentus* オナガアゲハ 市ヶ原, 1♀, 23.6.1963. やや少ない。
4. *P. bianor dehaanii* カラスアゲハ 鉄拐山, 1♂, 1.6.1965.
5. *P. protenor demetrius* クロアゲハ 旗振山, 1♂, 15.5.1965.
6. *P. helenus nicconicolens* モンキアゲハ 旗振山, 8♂, 1.6.1965.

周辺に蝶道をなし多産。

7. *Byasa alcinous* ジャコワアゲハ アイロード, 3♂, 1♀, 16.5.1965.
8. *Graphium sarpedon nipponum* アオスジアゲハ
森林植物園, 1ex., 6.6.1965.

B. Pieridae シロチョウ科